



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社ベビーカレンダー 上場取引所 東
 コード番号 7363 URL <https://corp.baby-calendar.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 安田 啓司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 竹林 慶治 TEL 03-6631-3600
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の業績 (2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	865	11.7	△17	—	△10	—	△31	—
2022年12月期第3四半期	774	6.9	6	△90.5	5	△89.8	2	△91.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	△35.06	—
2022年12月期第3四半期	3.09	2.99

(注) 当社は、2023年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,096	775	70.7
2022年12月期	1,129	805	71.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 775百万円 2022年12月期 805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200	10.6	△35	—	△28	—	△49	—	△54.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	941,700株	2022年12月期	941,700株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	40,032株	2022年12月期	40,032株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	901,668株	2022年12月期3Q	928,320株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「女性の笑顔でいっぱい A Sea of smiling Women」をビジョンに掲げ、女性の一生をサポートするための情報発信を軸とする事業をメインに、全国の医療機関向けにITを介したソリューションを提供する事業を展開しており、既存コンテンツの成長、継続的な人材確保による体制の増強、領域拡大による新規顧客の獲得に注力してまいりました。

こうした取り組みの結果、当第3四半期累計期間の売上高は865,710千円（前年同四半期は比11.7%増）、売上総利益556,199千円（前年同四半期比1.6%増）、営業損失は17,697千円（前年同四半期は6,642千円の営業利益）、経常損失は10,506千円（前年同四半期は5,834千円の経常利益）四半期純損失は31,615千円（前年同四半期は2,877千円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

(メディア事業)

メディア事業は、「妊娠・出産・育児」領域の専門サイト「ベビーカレンダー」、「ムーンカレンダー」、「ウーマンカレンダー」、及び「介護カレンダー」などの運営を行い、①PV連動型広告、②タイアップ広告、③成果報酬型広告の3つの活動を軸に事業を展開しておりますが、PV数及び広告新メニューが計画通りに推移しなかったこと等により、売上高は634,390千円（前年同四半期比8.9%増）、セグメント利益は137,695千円（前年同四半期比6.1%減）となりました。

(医療法人向け事業)

医療法人向け事業は、医療機関が抱える様々な課題に対して、「ベビーパッドシリーズ」、「エコー動画館」、「かんたん診察予約システム」、「おぎゃー写真館・動画館」及び「ホームページ制作」といった、ITを介したソリューションの拡販を継続しております。今期は「エコー動画館」に特に注力し、主力サービスの「ベビーパッドシリーズ」と並ぶよう拡販を進めた結果、売上高は231,320千円（前年同四半期比20.2%増）、セグメント利益は18,012千円（前年同期は1,473千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて134,518千円減少し、791,281千円となりました。これは、事業譲受に対する支出及び1年内返済予定の長期借入金を返済したことにより、現金及び預金が236,454千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて100,913千円増加し、305,023千円となりました。これは、主に事業譲受の実施による無形固定資産が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて33,605千円減少し、1,096,305千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて63,286千円増加し、272,620千円となりました。これは、主に金融機関からの融資実行により短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて66,359千円減少し、48,671千円となりました。これは、主に長期借入金66,934千円を1年内返済予定の長期借入金に振替えたことによるものであります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて3,073千円減少し、321,291千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて30,531千円減少し、775,013千円となりました。これは、主に四半期純損失31,615千円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、2023年10月16日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	716,414	479,960
売掛金	151,293	194,499
貯蔵品	27,968	36,695
その他	31,188	81,311
貸倒引当金	△1,063	△1,184
流動資産合計	925,800	791,281
固定資産		
有形固定資産	7,272	11,848
無形固定資産		
ソフトウェア	131,778	158,806
その他	26,856	84,763
無形固定資産合計	158,635	243,569
投資その他の資産		
その他	41,441	52,608
貸倒引当金	△3,239	△3,003
投資その他の資産合計	38,201	49,605
固定資産合計	204,110	305,023
資産合計	1,129,910	1,096,305
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,458	31,886
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	103,580	92,001
その他	81,295	98,732
流動負債合計	209,334	272,620
固定負債		
長期借入金	107,864	40,930
資産除去債務	7,081	7,149
その他	85	591
固定負債合計	115,031	48,671
負債合計	324,365	321,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	285,030	285,030
資本剰余金	415,626	415,626
利益剰余金	197,930	166,314
自己株式	△91,957	△91,957
株主資本合計	806,629	775,013
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,083	—
評価・換算差額等合計	△1,083	—
純資産合計	805,545	775,013
負債純資産合計	1,129,910	1,096,305

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	774,651	865,710
売上原価	227,494	309,511
売上総利益	547,157	556,199
販売費及び一般管理費	540,515	573,897
営業利益又は営業損失(△)	6,642	△17,697
営業外収益		
受取利息	7	6
違約金収入	—	7,287
その他	212	611
営業外収益合計	220	7,904
営業外費用		
支払利息	725	581
支払手数料	56	—
その他	247	131
営業外費用合計	1,028	713
経常利益又は経常損失(△)	5,834	△10,506
特別損失		
投資有価証券評価損	—	18,548
特別損失合計	—	18,548
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	5,834	△29,055
法人税、住民税及び事業税	1,346	1,257
法人税等調整額	1,610	1,303
法人税等合計	2,956	2,560
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,877	△31,615

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。この変更による四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	メディア事業	医療法人向け事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	582,291	93,097	675,389
その他の収益	—	99,262	99,262
外部顧客への売上高	582,291	192,360	774,651
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	582,291	192,360	774,651
セグメント利益又は損失(△)	146,679	△1,473	145,206

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	145,206
のれん償却額	△8,832
全社費用(注)	△129,731
四半期損益計算書の営業利益	6,642

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	メディア事業	医療法人向け事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	634,390	74,142	708,532
その他の収益	—	157,178	157,178
外部顧客への売上高	634,390	231,320	865,710
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	634,390	231,320	865,710
セグメント利益	137,695	18,012	155,708

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	155,708
のれん償却額	△9,977
全社費用（注）	△163,429
四半期損益計算書の営業損失（△）	△17,697

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の報告セグメントは、従来「メディア事業」「産婦人科向け事業」に区分しておりましたが、第1四半期会計期間より「産婦人科向け事業」の名称を「医療法人向け事業」に変更しております。これは「医療法人向け事業」のサービスは、産婦人科のみならず様々な医療機関向けへと拡大していることから、事業実態に即して報告セグメントの名称を変更するものであります。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(企業結合等関係)

(事業の譲受)

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社メディア・ビー
事業の内容 SEOコンサルティング事業

② 企業結合を行った主な理由

株式会社メディア・ビーは、システムツール開発事業及びSEOに特化したインターネットマーケティングに関するコンサルティング事業を展開しております。当社が営むメディア事業では、ページビュー数の増加を見込んでおり、本事業の譲受により自社で運営するサイト「ベビーカレンダー」「ウーマンカレンダー」「ムーンカレンダー」「介護カレンダー」などのページビュー数の増加を見込みつつ、既存顧客へのSEOコンサルティングの提供を行うことで新たな収益獲得に寄与するものと判断し、本事業を譲り受けることといたしました。

③ 企業結合日

2023年8月1日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

⑤ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として事業を譲り受けたためであります。

(2) 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	100,000千円
取得原価		100,000千円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

該当事項はありません。

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれんの金額

68,700千円

なお、のれんの金額は、当第3四半期会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

② 発生原因

今後の事業展開から期待される将来の超過収益力によるものであります。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(重要な後発事象)

該当事項はありません。